

JAくれ選果場「いしじ温州」出荷最盛期

【平成 30 年 12 月 21 日掲載】

JAくれ選果場（呉市蒲刈町）では、11月下旬から「いしじ温州」の出荷が始まり、12月中旬に最盛期を迎えました。今田選果場長は、「今年は8月が干ばつで、9月から11月にかけても少雨傾向だったため、園地が適度に乾燥して糖度が上昇し、食味も良好となった。中でも、特選品の「こだわりいしじ」については、レギュラー品よりも糖度が1度以上も高く、贈答用として高い評価を得ており、販売も大変好調！」と話されています。

「こだわりいしじ」は、園地全体を多孔質フィルム等で被覆し、水分コントロールを徹底して栽培したものです。全樹の果実を定期的に分析して、11月上旬の糖度と酸度が、基準をクリアした樹から収穫し、大きさや外観で区分し、1個ずつ丁寧に箱詰めして出荷します。

現在、「こだわりいしじ」の栽培に取り組んでいる農家は、呉市蒲刈・倉橋地域の30戸ですが、高価格の販売が続いていることから、栽培に取り組む農家は年々増えています。

JAくれ選果場の「いしじ温州」は、年内を中心に1月中旬まで出荷される予定です。



【箱詰め状況】



【「こだわりいしじ」出荷箱】